

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

確固たる技術力・品質により顧客の信頼を得て、安定的な取引関係を構築し、社会・顧客・株主から継続的に信頼される企業グループを目指す

ROE
8.0%以上

EPS
30.00円以上

自己資本比率
50.0%以上

連結配当性向
20.0%以上

2 中長期の経営戦略

1. 医療機器向け高付加価値化

医療機器・ヘルスケア領域を重点化。内視鏡・超音波探触子・補聴器等の小型化ニーズに対応した高密度多層基板技術開発に注力

3. EMS事業による付加価値向上

回路設計からモジュール化・最終製品組立まで一貫対応する電子機器受託製造サービスで、顧客との共同開発を拡大

2. パワーデバイス市場展開

AI・EV・高速通信市場の成長を背景に、パワーデバイス市場を重点成長分野化。セラミックス基板向け検査装置のAI活用と自動化を推進

4. 販路拡大と営業強化

2025年に代理店契約締結した販売代理店との連携強化。商社・販売代理店ネットワークで国内外販路を拡大

3 対処すべき課題

① 持続的成長への投資

- ・微細配線技術の高度化で高付加価値製品競争力強化
- ・FPC試作と中小ロット量産を事業の柱として確立
- ・設計段階からの技術提案による顧客との共同開発推進

② 検査装置の高精度化

- ・AI技術活用による欠陥検出力・検査精度向上
- ・画像処理設定自動化と検査高速化の技術開発
- ・アライメント機能強化によるコンタクト精度向上

③ 安定的な利益確保体制

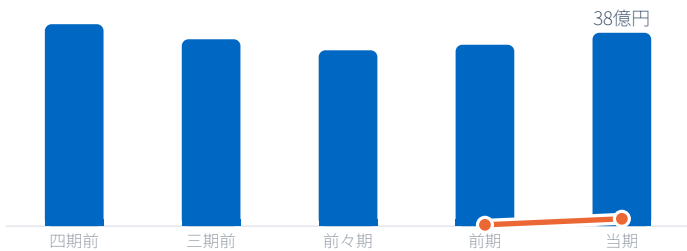
- ・営業損益4期ぶり黒字転換後の継続的安定化
- ・商社・販売代理店との連携による受注獲得
- ・上場維持基準への適合維持と株主還元施策実行

面接で使えるポイント

- ・医療機器・ヘルスケア領域での技術提案型共同開発で、顧客ニーズに柔軟かつ迅速に対応する経営戦略に注目
- ・AI技術活用によるセラミックス基板検査装置の欠陥検出能力向上で、EV市場成長に対応する施策を展開
- ・2028年度目標としてROE8.0%以上、EPS30.00円以上達成に向けた、ROE重視の経営方針に着眼

証券コード 6663

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
38億円

営業利益率
3.8%

財務健康度
48点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 37.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
516万円

電気機器内 213位/225社

平均年齢
45.7歳

電気機器内 42位/225社

平均勤続
20.0年

電気機器内 27位/225社

女性管理職
3.7%

電気機器内 132位/182社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

電気機器製造業に属する企業で、連結売上38億円、従業員192名の規模

主力事業・セグメント

- ・電子Substrate 64.2%
- ・TestingSystem 12.0%
- ・産業機械・System 11.9%

強み・特徴（公開データから）

- ・平均勤続20.0年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 太洋テクノレックス(株)【6663】：決算情報

